

第

4

章

計画の目指すもの

計画の目指すもの

1 基本理念

生涯にわたる歯と口の健康の保持増進

～自分の歯でおいしく食べることができる歯と口を目指して～

自分の歯と口でおいしく食べること、楽しく話すことは重要なことであり、生活の質（QOL）の向上につながるため、すべての市民が歯と口の機能を維持し、健やかな生活ができる持続可能な社会を実現する必要があります。

そこで、本市では生涯にわたる歯と口の健康の保持増進を実現することを目指します。

3 すべての人に
健康と福祉を



2 基本方針

1 乳幼児から高齢者まで生涯を通じた ライフステージごとの切れ目のない支援 (ライフコースアプローチ)

幼少期からの生活習慣が生涯にわたる歯科口腔保健に影響を及ぼすことから、各ステージを経時的に捉えた早期からのアプローチを進めていく必要があります。

そこで、乳幼児期から高齢期にわたるすべてのライフステージごとの切れ目のない歯科保健対策を推進します。



② 定期的に歯科検診または歯科医療を受けることが困難な者への歯科口腔保健対策の推進

市民の誰もがが必要な時、適切な時期に歯科検診や歯科医療を受ける必要があります。

障害や高齢により治療を受けにくい「障害者（児）」や「要介護者」「在宅療養者」をはじめ、必要とするすべての人にそれぞれの特性に応じた取り組みを進めます。

③ 歯科口腔保健対策を推進するために必要な社会環境の整備

本市の歯科口腔保健の状況は、県内ではむし歯や歯周病ともに有病率が高い状況にあることから、「むし歯は感染症」「歯周病は糖尿病や全身疾患への影響がある」をはじめ、「オーラルフレイル予防」など新たな視点についても、わかりやすく市民に啓発を進めていきます。

市民の誰もが歯と口の健康づくりが実践できるよう個人や地域、関係機関、行政が一体となり連携、協力できる社会環境の整備を進めます。

また、大規模な災害発生時の避難生活における口腔ケアや平時からの備えについて啓発を進めていきます。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

豊橋市は、令和元年（2019）7月1日にSDG s未来都市に選ばれました。SDG sは国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。

世界中の国が協力して、地球上のさまざまな問題を解決し、発展していくために定めたもので、地球上の誰一人として取り残さないことを目指しています。

基本理念

生涯にわたる歯と口の健康の保持増進

～自分の歯でおいしく食べることができる歯と口を目指して～

基本方針

1 乳幼児から高齢者まで生涯を通じたライフステージごとの切れ目のない支援(ライコ-アプーチ)

2 定期的に歯科検診または歯科医療を受けることが困難な者への歯科口腔保健対策の推進

3 歯科口腔保健対策を推進するために必要な社会環境の整備

基本方針別計画

(1) 乳幼児期における健全な歯と口腔機能の育成

(2) 学齢期におけるむし歯、歯肉炎の予防と口腔機能の育成

(3) 妊産婦における歯周病とむし歯の予防

(4) 成人期における歯周病、オーラルフレイルと歯の喪失予防

(5) 高齢期におけるオーラルフレイルと歯の喪失防止

(1) 障害者(児)・要介護高齢者・在宅療養者における受診したいときに受診できる環境づくり

(2) 必要とするすべての人に、口腔の健康状態を改善するための支援を提供

(1) 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発

(2) 歯と口の健康づくりに携わる者の支援と資質の向上

(3) 災害時の歯科口腔保健対策

